

平成 28 年度 政策評価表

総合的に取り組む 重点課題	人と自然が共生するまち”エコタウン所沢”の実現	ゼネラル マネージャー	環境クリーン部長 越阪部 孝夫
------------------	-------------------------	----------------	--------------------

後期基本計画で掲げた取り組み方針

- 1 エネルギー・資源の抑制と創出
- 2 ふるさとのみどりの保全と創出
- 3 もったいない！ 3R行動の実践

1. ゼネラルマネージャーによる活動計画

計画期間における方向性	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 マチごとエコタウン所沢構想(以下、「構想」という。)に基づき、省エネルギー・創エネルギーに関する施策を展開し、市の事務事業や市域から排出される温室効果ガスの削減を図り、地球温暖化対策を推進する。			
	《②ふるさとのみどりの保全と創出》 市・市民・市民団体・事業者による主体的な取り組みと協働により、本市の魅力あるみどりを保全するとともに、街中のみどりを創出するため、公園の整備や道路・学校等の緑化のほか、みどりの街並みを形成する取り組みを推進する。			
	《③もったいない！ 3R行動の実践》 資源の消費を抑制した循環型社会の形成を目指し、リデュース(ごみの発生抑制・排出抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の取り組みを市民・事業者等との協力のもと推進する。			
各年度の目標	H27(実績)	H28	H29	H30
	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 マチごとエコタウン所沢構想及び所沢市温暖化対策実行計画(以下、「実行計画」という。)の推進	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 構想及び実行計画の推進	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 構想及び実行計画の推進	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 構想及び実行計画の推進並びに当該計画等の全体検証・見直し
	《②ふるさとのみどりの保全と創出》 所沢市みどりの基本計画(以下、「基本計画」という。)の推進及び前期分の検証	《②ふるさとのみどりの保全と創出》 基本計画の推進	《②ふるさとのみどりの保全と創出》 基本計画の推進	《②ふるさとのみどりの保全と創出》 基本計画の推進及び改定
各年度の活動内容	《③もったいない！ 3R行動の実践》 ・所沢市一般廃棄物処理基本計画の改訂 ・施策の計画と実施	《③もったいない！ 3R行動の実践》 施策の実施と調整	《③もったいない！ 3R行動の実践》 施策の実施と調整	《③もったいない！ 3R行動の実践》 施策の検証及び見直し
	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 【マチごとエコタウン推進事業】 ・埼玉エコタウンプロジェクト推進事業(重点実施街区内の公共施設へ蓄電池設置事業、公園灯LED化整備事業) ・メガソーラー所沢設置運営事業 ・市有施設の屋根貸しによる太陽光発電事業 ・EV・PHV等エコカー充電設備設置運営事業 ・「実践！省エネ」エコファミリー大賞事業 ・マチごとエコタウン推進基金事業(スマートエネルギー推進補助事業、道路照明灯LED化整備事業、防犯灯LED化補助事業など) 【実行計画関連事業】 ・有機系太陽光電池の実証実験に関する協定の締結 ・啓発事業の実施(マチエコ大使の委嘱、ライトダウンキャンペーンの実施、エコライフデーの実施、環境講演会の開催、環境展示・マチエコ展示の開催など)	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 【マチごとエコタウン推進事業】 ・埼玉エコタウンプロジェクト推進事業(フロード式太陽光発電設備設置運営事業、電力ピークカット等蓄電池実証実験等の実施) ・公共施設への太陽光発電設備の設置(こどもと福祉の未来館、西部クリーンセンター) ・地域密着型ローコスト太陽光発電等普及事業の検討・実施 ・マチごとエコタウン推進基金事業の検討・実施(スマートエネルギー推進補助事業など) 【継続事業】 メガソーラー所沢設置運営事業、EV・PHV等エコカー充電設備設置運営事業、「実践！省エネ」エコファミリー大賞事業 【実行計画関連事業】 ・有機系太陽光電池の実証実験への協力・連携 ・啓発事業の実施(マチエコ大使の委嘱、マチエコ動画コンテストの開催、各種イベントの実施など)	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 【マチごとエコタウン推進事業】 ・エネルギープロジェクトに係る重点事業等の立案・実施 ・事業効果等の検証 ・検証に伴う事業の是正・改善 【実行計画関連事業】 ・実行計画に係る関連事業の立案・実施 ・温室効果ガス排出量の検証 ・検証に伴う事業の是正・改善	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 【マチごとエコタウン推進事業】 ・エネルギープロジェクトに係る重点事業等の立案・実施 ・事業効果等の検証 ・構想の全体検証と見直し検討 【実行計画関連事業】 ・実行計画に係る関連事業の立案・実施 ・温室効果ガス排出量の検証 ・実行計画の全体検証と見直し(環境基本計画を含む。)

各年度の活動内容	<p>《②ふるさとのみどりの保全と創出》 【みどりの保全】 ・三ヶ島二丁目里山保全地域の指定 ・保存樹木等の新たな支援事業の実施 ・学校と地域コミュニティの協働による緑地の保全・活用及び生態系ネットワークの検討 【みどりの創出】 ・保育園における緑化の実施 【公園等の整備】 ・所沢カルチャーパークの築造 【みどりの活動の推進】 ・みどりのパートナー活動に対する支援及びみどりのパートナー育成講座の実施 ・みどりのふれあいウォークの実施 ・狭山湖周辺人道橋整備事業に係る調査委託の実施</p>	<p>《②ふるさとのみどりの保全と創出》 【みどりの保全】 ・里山保全地域等の指定 ・保存樹木等の支援と拡充 ・生物多様性に配慮した保全の検討 【みどりの創出】 ・公共施設緑化の推進・実施 【公園等の整備】 ・所沢カルチャーパークの築造 ・街区公園の築造 【みどりの活動の推進】 ・みどりのパートナー活動に対する支援の実施 ・みどりのふれあいウォークの実施 ・狭山湖周辺人道橋整備に係る概略設計の実施</p>	<p>《②ふるさとのみどりの保全と創出》 【みどりの保全】 ・里山保全地域等の指定 ・保存樹木等の支援 ・生物多様性に配慮した保全の実施 【みどりの創出】 ・公共施設緑化の推進・実施 【公園等の整備】 ・所沢カルチャーパークの築造 ・街区公園の築造 【みどりの活動の推進】 ・みどりのパートナー活動に対する支援の実施 ・みどりのふれあいウォークの実施 ・狭山湖周辺人道橋整備に係る実施設計の実施</p>	<p>《②ふるさとのみどりの保全と創出》 【みどりの保全】 ・里山保全地域等の指定 ・保存樹木等の支援 ・生物多様性に配慮した保全の実施 【みどりの創出】 ・公共施設緑化の推進・実施 【公園等の整備】 ・所沢カルチャーパークの築造 ・街区公園の築造 【みどりの活動の推進】 ・みどりのパートナー活動に対する支援の実施 ・みどりのふれあいウォークの実施 ・狭山湖周辺人道橋の整備工事</p>
各年度の活動内容	<p>《③もったいない！3R行動の実践》 所沢市一般廃棄物処理基本計画を改訂 【ごみの減量と資源化】 ・食品ロスゼロのまち協力店登録制度の開始(登録店舗142店舗：H28.1.14現在) ・雑がみ保管袋のモデル地区への配布(5自治会)及び効果検証を実施 ・古着・古布のモデル回収事業(2自治会)の実施及び効果検証 ・古着・古布の集積所収集を計画 ・ごみ分別アプリ「わけてこっ！」の活用【もったいないの心の醸成】 ・エコロ祭り3DAYS・エコロの出張もったいない市・エコロのもったいない市【2days】を開催するなど、各種イベントを充実 ・リサイクルふれあい館において3Rに関する講習会の実施 ・市民文化フェア、市民フェスティバルへの出展及びごみ集積所におけるチラシの掲示など、リサイクル啓発活動の実施 【処理施設の更新・整備】 ・西部クリーンセンター長寿命化に伴うA系炉機器更新・受入施設の整備 ・東部クリーンセンター長寿命化計画策定着手 ・東部クリーンセンター長期包括運営の検討 ・最終処分場整備に向けて地元住民説明会の実施</p>	<p>《③もったいない！3R行動の実践》 【ごみの減量と資源化】 ・古着・古布集積所収集の開始 ・食品ロスゼロのまち促進事業の実施 ・雑がみ回収推進事業施策の検討 ・集団資源回収事業報償金単価の見直し ・生ごみ処理機器等に対する奨励金交付額割合及び限度額の見直し ・生ごみ減量・資源化講演会の充実 ・ごみ分別アプリ「わけてこっ！」の活用 【もったいないの心の醸成】 ・エコロ祭り・出張エコロ市・エコロ市の開催 ・3Rに関する講習会の実施 【処理施設の更新・整備・運営】 ■西部クリーンセンター ・長寿命化に伴うB系炉機器更新・C系炉の撤去・灰積出棟の建替え工事 ・長期包括運営に伴う要求水準書の検討 ■東部クリーンセンター ・循環型社会形成推進地域計画(第2期)策定 ・東部クリーンセンター灰溶融設備の廃止に伴う延命化工事発注仕様書作成 ・長期包括運営に伴う要求水準書(発注仕様書)作成 ■最終処分場 ・整備に向けた地元住民説明会の実施及び基本計画の策定</p>	<p>《③もったいない！3R行動の実践》 【ごみの減量と資源化】 ・食品ロスゼロの促進、雑がみ及び古着・古布の回収事業等の実施 ・各事業効果の検証 ・検証に伴う事業の是正・改善 【もったいないの心の醸成】 ・3Rに関する講習会等の実施と周知及び啓発(リサイクルふれあい館「エコロ」) 【処理施設の更新・整備】 ・焼却施設等の更新及び最終処分場の整備 ・東部クリーンセンター長期包括管理運営を含めた延命化工事の発注・着手 ・最終処分場整備において、基本計画を基に基本設計を策定</p>	<p>《③もったいない！3R行動の実践》 【ごみの減量と資源化】 ・食品ロスゼロの促進、雑がみ及び古着・古布の回収事業等の実施 ・各事業効果の検証 ・関係施策の検証と事業の見直し 【もったいないの心の醸成】 ・3Rに関する講習会等の実施と周知及び啓発(リサイクルふれあい館「エコロ」) 【処理施設の更新・整備】 ・焼却施設等の更新及び最終処分場の整備 ・東部クリーンセンター延命化工事 ・最終処分場整備に向けた生活環境影響調査の実施</p>

2. 計画期間における目標指標

指標名	単位	策定時の数値	H27年度実績	H27年度目標値	H27年度における達成率	将来目標(H30)
市域における温室効果ガス排出量の削減	%	0.89 (H24)	0.38	1.6	23.8%	3.8
新たに確保するみどりの面積	ha	28.34	45.38	—	—	42.00*
市民1人当たりのごみ排出量	g/人・日	618	594 (暫定値)	595	100.2%	578

※所沢市みどりの基本計画に掲げる目標値です。

3. 第5次所沢市総合計画後期基本計画内にある施策のうち「充実すべき施策」と感じている市民の数（「平成27年度所沢市民意識調査」の結果）

節名称		「充実すべき施策」と感じている人数 (2,125人中)	割合	全42節中順位
第6章「環境・自然」	第1節「環境との共生」	615人	28.9%	28位
第6章「環境・自然」	第2節「みどりの保全・公園の整備」	773人	36.4%	13位
第6章「環境・自然」	第4節「廃棄物の減量・資源の循環」	709人	33.4%	20位

4. 政策を構成する主要事業の進捗状況

事業名	H27 決算額 (単位:千円)	H28 予算額 (単位:千円)	成果指標				
			指標名	単位	H27 実績	H27 目標値	達成率 (%)
マチごとエコタウン所沢構想推進事業(メガソーラー所沢設置運営事業等)	56,349	56,989	総発電量	MWh	1299	1084	120%
『実践!創エネ・省エネ』所沢市スマートエネルギー補助事業	58,999	61,033	CO2削減量	t-CO2	794	803	99%
埼玉エコタウンプロジェクト推進事業	39,356	87,954	設備導入箇所	箇所	10	10	100%
マチごとエコタウン推進基金事業(道路照明灯LED化事業等)	39,323	124,552	CO2削減量	t-CO2	1320	1162	114%
里山保全地域等指定整備事業	44,390	30,727	新たに確保した地域制緑地面積	ha	45.38	42.00	108%
みどりのパートナー活動推進事業	5,711	8,249	登録者数	人	1,230	810	152%
所沢カルチャーパーク築造事業	196,223	166,725	用地取得面積	ha	22.79	22.79	100%
集団資源回収報償金交付事業	56,604	70,191	集団資源回収率	%	79.2	80.0	99%
西部クリーンセンター基幹的設備改良(長寿命化)事業	1,042,220	1,910,741	工事進捗率 (H26~H28年度 3ヶ年事業)	%	68.7	69.0	100%
トコとん資源化推進事業(生ごみ減量・資源化講演会開催事業)	203	407	講演会参加者数	人	215	95	226%

5. 各取り組み方針における進捗状況

1 エネルギー・資源の抑制と創出	2 ふるさとのみどりの保全と創出
<ul style="list-style-type: none"> ・メガソーラー所沢において、1,299MWhの再生可能エネルギーを創出した。 ・再生可能エネルギーの利用増進を図るため、市立小中学校14校において、屋根貸し制度を利用して発電能力461kWを有する太陽光発電設備を整備した。(平成26年度実績:13校、471kW 合計:市立小中学校 27校、発電能力 932kW) ・埼玉エコタウンプロジェクトを推進するため、マチエコ応援隊を結成し、重点実施街区の省エネ機器等の普及に努めるとともに、公共施設への蓄電池の設置や公園灯のLED化を図った。 ・徹底した省エネと再生可能エネルギーの利用によりエコタウンの実現を図るため、同目的に資する機器等を導入する市民・事業者の支援(スマートエネルギー補助事業)を行った。 ・次世代の技術である有機系太陽電池の普及に向け、RATO(有機系太陽電池技術研究組合)と連携し、航空公園駅周辺における実証実験を行った。(平成27年11月~平成29年2月) ・マチエコ大使を設け、エコファミリー大賞やライトダウンイベントなど、温暖化対策に係る各種啓発事業やイベントを通じて、マチごとエコタウン所沢構想の普及を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の貴重な自然環境を次世代につなぐため、里山保全地域や特別緑地保全地区などの地域制緑地の指定を行うとともに、公共施設緑化の実施に向けた調整を行った。 ・市民協働によるみどりの保全と創出を推進するため、みどりのパートナー活動に対する支援を実施した。 ・ふるさとのみどり啓発事業として、みどりのふれあいウォーク等を実施するとともに、狭山湖周辺の安全な散策路として、人道橋を整備するため、測量等の調査業務を行った。 ・所沢カルチャーパーク築造事業については、平成28年度までの事業計画期間内での完了が難しい状況となり、事業計画期間を5年間延長することとしている。
3 もったいない! 3R行動の実践	
<p>【ごみの減量と資源化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所沢市廃棄物減量等推進審議会答申を踏まえ、一般廃棄物処理基本計画を平成27年10月に改訂した。 ・平成27年4月より「食品ロスゼロのまち協力店登録制度」を開始(登録店舗数:183件)したほか、燃えるごみの中で13%含まれる雑がみについて、雑がみ保管袋の試験的な配布を実施した。 ・古着・古布のモデル回収事業(実施自治会:グリーンヒル自治会、グリーン並木自治会)の実施及び効果検証の結果、平成28年度より古着・古布の集積所収集を開始することに決定した。 <p>【もったいないの心の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルふれあい館での“エコまつり”や東西クリーンセンターでの“もったいない市”などを開催し、3Rに関する啓発事業を実施した。 <p>【処理施設の更新・整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却処理施設の更新及び新たな最終処分場の整備計画を進めている。 	

6. 平成27年度における目標の達成に向けた推進状況及び自己評価	記入日 H28.5.26
<p>【1 エネルギー・資源の抑制と創出】 マチごとエコタウン推進事業については、市民・事業者への創エネ・省エネ機器の導入支援を行う一方、道路照明灯の一括LED化事業や公共施設を利用した太陽光発電設備(メガソーラー所沢・市立小中学校)の設置事業など、関係重点事業を順調に実施し、スマートエネルギープロジェクトの目標指標「市域における太陽光発電設備の総発電出力」は26.4MWとなり、目標値を大幅に達成している状況にある。今後も、引き続き関係重点事業の実施に向けて関係部署等との調整・検討を図るとともに、平成27年6月に採択された埼玉エコタウンプロジェクト(重点実施街区:松が丘)に係る取り組みの中で、フロート式太陽光発電設備設置運営事業やネガワット取引等を行う家庭用蓄電池のモデル普及事業(県事業)を実施し、本プロジェクト及びマチごとエコタウン所沢構想の推進を図る。</p> <p>温暖化対策実行計画においては、二酸化炭素実排出係数の増加等の理由により市域における温室効果ガスの削減が難しい中、所沢市環境審議会において効果的な環境施策の推進方策等を検討しており、今後、具体的な温室効果ガスの削減取組・事業の立案につなげていく。</p> <p>【2 ふるさとのみどりの保全と創出】 「所沢しみどりの基本計画」に基づき、里山保全地域等の指定、公共施設緑化、所沢カルチャーパーク築造事業等の推進が図られていることから、事業期間の延長はあるものの概ね順調に進捗している。今後の方向性としては、引き続き、里山保全地域等の指定、公共施設緑化、所沢カルチャーパーク築造事業等の推進を図っていく。さらに、関係部署等との連携による「みどりのふれあいウォーク」などの啓発事業を実施するとともに、安全な散策路の確保のため、人道橋整備事業を進める。</p> <p>【3 もったいない！3R行動の実践】 リサイクルふれあい館「エコロ」を中心とした啓発事業(エコロまつり【3days】・出張もったいない市・3Rに関する講習会の開催等)による『もったいないの心』の醸成に努めるとともに、平成27年4月より開始した「食品ロスゼロのまち協力店登録制度」や、「食べきりタイム」の一層の普及、回収袋による雑がみ回収率の向上(試験的運用)、関係部署と連携をもって実施した小中学校における牛乳パックの回収などの一般廃棄物処理基本計画に基づく新規施策により、目標指標である市民1人当たりのごみ排出量は概ね順調に削減されている。</p> <p>また、3年間計画の2年目となる西部クリーンセンター基幹的設備改良(長寿命化)事業については、順調に工事を実施している状況にある。</p> <p>今後も、一般廃棄物処理基本計画に基づき、各種の減量・資源化施策を充実させるとともに、計画的に焼却施設などの処理施設の維持・更新に努め、安定的なごみ処理体制の確保を行っていく。</p>	
7. 政策会議における評価	記入日 H28.8.9
<p>緑地保全や、みどりのパートナー活動など順調に推移しており評価できる。今後は、食品ロスゼロや食べきりタイムなど、地域や市民の意識向上に繋がる取組に重点を置いて、さらに浸透を図ってください。</p>	